

2021年11月22日

各 位

会社名 株式会社 キャンバス
代表者名 代表取締役社長 河邊 拓己
(コード番号: 4575 東証マザーズ)
問合せ先 取締役最高財務責任者 加登住 眞
IR@canbas.co.jp

CBP501臨床第2相試験実施施設 7施設追加オープンのお知らせ

当社は、抗がん剤候補化合物・免疫着火剤CBP501臨床第2相試験の加速のため実施施設増加を図っておりますが、10月29日公表の最初の1施設・11月4日公表の6施設追加に加え、昨日（米国現地時間）までに7施設が追加オープンされましたので、お知らせします。

1. CBP501臨床第2相試験の概要

対象： 臓腑がん3次治療

実施地域： 米国

投与群数： 4群

CBP501 + シスプラチン + ニボルマブ（オプジーボ） 3剤併用投与群×2、2剤併用投与群×2

症例数： ステージ1 各9例、ステージ2（必要となった場合）各14例

特徴： ステージ1の終了後に中間解析を実施

より詳細な内容は[2021年2月16日公表資料『CBP501臨床第2相試験計画の公表について』](#)をご参照ください。

本臨床試験に関する詳細は、[ClinicalTrials.govのページ](#)をご参照ください。

なお、同ウェブサイトの情報更新は当社が直接実施しておらず、当社の公表情報とのタイムラグがあります。

2. 今後の実施施設オープンと組入れの見通し

実施施設開設の障害となっていた事務調整が10月下旬に解消されて以降、昨日までに追加された7施設を加えた14施設が現在オープンしています。

オープン済みの施設および今後オープン予定の施設はすべて米国内です。現在の14施設の地理的分布は、テキサス州6施設、オハイオ州、ミネソタ州、ネバダ州、アリゾナ州、ワシントン州、デラウェア州、バージニア州、イリノイ州各1施設です。

今回の臨床試験のマネジメントは、抗がん剤の臨床試験に特化して全米500近い臨床試験実施施設をネットワークしている、20年以上の歴史を持つ米国有数の大手SMO（Site Management Organization：治験施設支援機関）と協働しています。

これによって当社は、臨床試験実施施設の効率的なオープンと患者組入れの迅速化を計画しており、今回のように一気に複数施設がオープンするのもこのネットワークの活用によるものです。

[2021年10月29日公表資料『CBP501臨床第2相試験実施施設オープンのお知らせ』](#)に記載のとおり、今後の実施施設オープンの増加も概ね計画どおり進むと見込んでいます。

また、最初の患者への登録（FPI）も、今後比較的早期に実現すると考えていますが、各施設の待機患者状況などにもよるため、明確な見通しの公表は差し控えます。

最初の患者への投与開始が実現した際には、速やかに開示いたします。

なお、本件による2022年6月期業績への直接の影響はありません。

以上